



和歌山県国際交流センターとは

和歌山県国際交流センターは、外国人住民の「安心して暮らしたい」と、県民の「世界とつながりたい」を応援する場所です。日々の外国人相談から文化交流まで、人と人がやさしくつながる時間がここに 있습니다。

施設のご紹介

国際交流センターは和歌山市内にあり、どなたでもご利用いただけるフリースペース・図書室・キッズコーナー、国際交流活動にご利用いただける貸会議室があります。



目次

- P.2 和歌山県内の外国人の状況
- P.3 国際交流に興味のある方へ
- P.4 わかやまJICAボランティア応援団通信
- P.5 JICA関西 和歌山デスクより
- P.6 在住外国人インタビュー せかいとつながるわかやまライフ 賛助会員のご案内



知っていますか？和歌山県内の外国人の状況

～和歌山県国際交流センターの在住外国人支援の取り組み紹介～

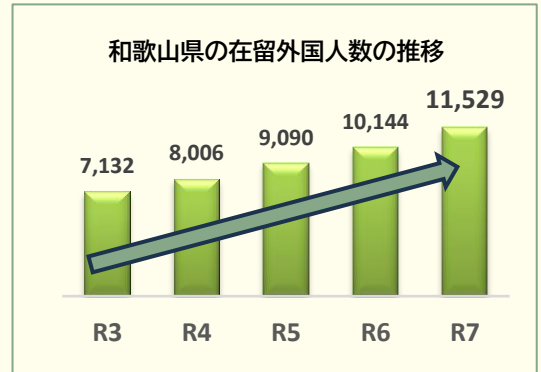
生活相談窓口

和歌山県内に暮らす外国人住民は年々増加しており、2025年（令和7年）12月末データで **11,529人** となっています。国籍別ではベトナム、韓国、中国、インドネシア、フィリピン、ネパールなど、アジア圏を中心に多様な国・地域にルーツを持つ方々が暮らしています。

多様な国・地域の方々が地域社会の一員として生活する中、言葉や制度、日常生活に関する悩みを抱えるケースも少なくありません。

和歌山県国際交流センターでは、外国人のための相談窓口を設置し、外国人生活相談員が英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語で相談に対応しています。また、国際交流団体や市町村等からの国際交流・多文化共生に関する相談にも応じており、誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援しています。

出入国在留管理庁より在留外国人統計より



◇相談日時

日本語・英語 —— 水曜日以外の毎日 10時～16時

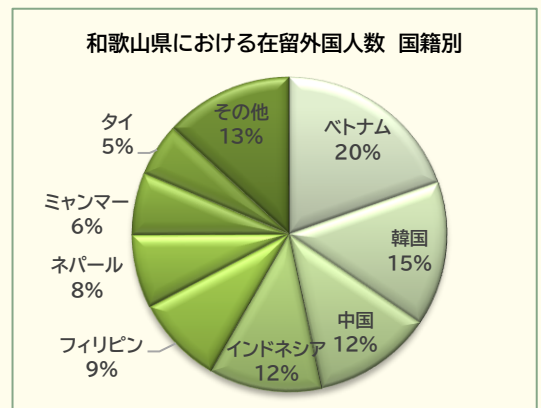
フィリピン語・中国語 —— 月・木・土曜日 10時～16時

ベトナム語 —— 木・日曜日 10時～16時

◇相談場所 和歌山県国際交流センター

◇対応言語 日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語

詳細はホームページよりご確認ください →
また、お近くの外国人の方々へぜひご周知ください



日本語学習支援

外国人住民が安心して地域で暮らせるよう、県内のボランティア団体等と協力しながら、日本語教室を開催しています。

対面やオンラインで日本語学習や日本文化を学ぶ機会を提供するとともに、日本語学習を支えるボランティアの育成にも力を入れています。

また、ホームページ「わかやまにほんごのまど」では、県内の日本語教室に関する情報を発信しており、日本語学習の機会につながるサポートを行っています。さらに、誰もが分かりやすく伝え合える「やさしい日本語」の普及を推進しています。



日本語ボランティア団体 わかやま日本語の会NAGOMI主催
お花見でのゲームのようす



日本語教室情報サイト
わかやまにほんごのまど

防災啓発

在住外国人のための災害対策予防の取組として、一例を紹介します。

外国人のための防災ワークショップ「Let's Study BOSAI」を関係機関・団体と協力して実施しています。

地震や津波、台風などの災害発生に備え、在住外国人等が自らの防災に関する知識と意識を高め、災害時に適切な行動を取れるようにすることを目的に、地震等災害についての基礎知識を学び、グループで様々なミッションに挑戦する実践型イベントを通して啓発を行っています。

また、災害時に外国人を支援するための訓練、「災害時多言語支援センター設置運営訓練」を年1回行っており、近畿圏内の国際交流協会等とも定期的に情報交換や課題検証を行い、支援のネットワークを強化しています。



防災ワークショップでの
VR車体験



防災ワークショップでの
心臓マッサージ体験



国際交流ボランティア活動

★和歌山県国際交流センターボランティア随時募集！

和歌山県国際交流センターでは、在住外国人をはじめとした異文化背景を持つ人々との相互交流・相互理解の促進と、在住外国人の利便を図ることを目的にボランティア登録制度を設けています。

ご関心のある方は、和歌山県国際交流センターまでお問い合わせください。

E-mail: wa-world@wixas.or.jp

●登録条件●

- ①18歳以上で自発的に責任をもって行動できる方
- ②活動中に知りえた秘密・情報を守る方
- ③和歌山県内に在住、または通勤・通学している方
- ④登録期間中、センターとEメール等で円滑に連絡が取れる方
- ⑤センターが実施する説明会及び研修会に参加できる方
- ⑥他のボランティアの方と協力して活動ができる方

●ボランティアの種類●

- ①翻訳・通訳
- ②ホームステイ
- ③文化紹介
- ④日本語
- ⑤情報収集提供

センターと協働し、ボランティア活動をしていただける方、私たちと一緒に活動しませんか？



和歌山県国際交流センター ボランティア交流会

いつも和歌山県国際交流センターのボランティア活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。「ボランティア交流会」では、活動紹介やグループワークを通して活動内容の理解を深めるとともに、交流会では日頃の御礼を込めて、ケーキやお飲み物をご用意しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

2026年7月4日(土) 13:30~15:30

場所：和歌山県国際交流センター 交流ラウンジ

内容：①各種のボランティアからの活動紹介
②グループワーク

ファシリテーター：和歌山青年海外協力協会 役員 中嶋 悦子 氏

③交流会（ケーキとコーヒー・紅茶付き）

申込方法：右記の二次元コード、もしくは、メール (iguchi@wixas.or.jp) からお申込みください

申込期限：令和8年6月30日(火)

ボランティアの楽しさも悩みも
みんなでシェアしましょう！

ケーキとコーヒー
ついてるよ

中嶋 悦子 氏 (和歌山青年海外協力隊 役員)
JICA海外協力隊としてネパールにて女性の自立支援のために活動
2022年9月から9回開催、地域国際交流イベント
「ゼロエンマーケットin紀の川市」発業者

問い合わせ先
和歌山県国際交流センター「ボランティア交流会」
〒640-8319
和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8F
TEL: 073-435-5240 FAX: 073-435-5243
E-mail iguchi@wixas.or.jp 担当：井口

登録者向けの交流会も実施



ホームステイボランティア



国際交流イベントの
運営サポート



日本語ボランティア

施設内の取組紹介



図書コーナー

図書コーナー(資料閲覧室)においては、外国人向けの図書を多数所蔵し、和歌山県国際交流センター独自の強みとして、在住外国人が、「母語で日本語を学べる教材・母語で読むことができる小説」を充実させて運営しています。

また、日本人の方向けにも多文化共生や国際理解等に関係する多彩な図書を取り揃え、海外旅行や外国人作家のエッセイ、語学を学ぶ方のための学習本などを分類ごとにわかりやすく配置しています。

さらに、2025年末には民間団体(和歌山東ロータリークラブ)から、121冊の新規図書の寄贈を受け、新着図書は貸出ランキングにおいても人気があります。



図書コーナーのご案内

場所 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8階

利用対象 県内在住・在勤・在学の方

貸出 1人10冊まで、3週間利用できます。

※図書カード作成時に本人確認書類が必要です。



せかいとつながる わかやまライフ



和歌山県には、さまざまな国や地域から来た外国人住民が暮らしています。今回はアメリカ・コロラド州出身のサバナさんに、和歌山での暮らしや趣味、異文化交流の魅力についてお話を伺いました。

和歌山で研究と交流を楽しむ アメリカ出身 サバナさん

Q. 和歌山に来たきっかけを教えてください。

A. 私はアメリカ出身ですが、大学院での研究のためエストニアに4年間住んでいました。その後、大学のパートナーシップを通じて北海道に滞在し、2年前に大阪へ引っ越しました。大阪では6か月間、日本語学校に通いました。夫が和歌山に住んでいたため、当時は毎週末に大阪から和歌山へ通っていました。日本語学校を卒業した後、和歌山へ引っ越してきました。

Q. 現在はどのような生活をしていますか。

A. エストニアの大学の博士課程に所属しており、自宅からリモートで論文執筆や研究を続けています。研究をしながら、和歌山での生活も楽しんでいきます。

Q. 趣味を教えてください。

A. ギターやヴィオラを演奏したり、歌を歌ったりすることが好きです。東ヨーロッパの民族音楽が特に好きです。また、ハイキングや旅行、読書も楽しんでいます。

Q. 和歌山でお気に入りの場所はありますか。

A. 友ヶ島が好きです。美しい景色とハイキングコースがとても印象的でした。また、すさみ町では古民家で行われた伝統的なお香づくりを体験し、日本の伝統文化に触れることができました。それから、家の近くにある和歌浦もお気に入りです。丘の上から海や島々を眺めることができ、和歌や和歌山の名前とも関わりのある歴史的な場所です。また、和歌山県立紀伊風土記の丘も好きです。古墳や古民家の展示があり、和歌山の歴史や文化を学ぶことができます。

Q. アメリカの好きな文化や場所を教えてください。

A. 「Little Free Library (リトル・フリー・ライブラリー)」という文化が好きです。街角に小さな本棚を設置し、誰でも自由に本を借りたり寄付したりできる仕組みです。私は本が大好きで、本を通じて地域の人につながる、とても素敵な文化だと思います。

Q. 和歌山で心に残っていることはありますか。

A. 大家さんやその友人の皆さんと出会えたことです。今では毎週会うほど親しくなり、家族のような存在です。6か月ほど前に腕を脱臼した際には、病院へ付き添ってくれたり、日本語で説明をしてくれたりして助けられました。皆さんとても親切で、和歌山の人の温かさを感じています。

Q. 最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

A. 私は文化交流を通して、多くの大切なことを学びました。異なる国や文化を持つ人と出会い、話をしたり、音楽や文化に触れたりすることで、新しい発見があります。和歌山の皆さんはとても親切です。ぜひ交流の機会があれば、さまざまな国の人たちと話し、お互いの文化を知ってほしいと思います。

【編集後記】研究に励みながら、地域の人々との交流や旅行、音楽などを楽しむサバナさん。和歌山での暮らしを通じて生まれた人とのつながりや異文化交流の経験は、多文化共生の大切さを改めて教えてくれます。



県内高校図書委員の交流会にて、アメリカの読書文化を紹介するサバナさん
和歌山県国際交流センターにて

WIXASの活動を応援してください！

◎公益財団法人和歌山県国際交流協会(WIXAS)は 賛助会員 を募集しています。

和歌山県内の各分野での国際交流活動、国際相互理解及び国際協力を促進するとともに、在住外国人への支援を推進しています。ことば、民族、国境を越えて誰にでも開かれた地域社会づくりを図り、ひいては国際社会の平和と発展に寄与することを目的に活動しています。ぜひ当協会の活動にご賛同ください。

◀賛助会員▶ 会費 個人3,000円/年、団体10,000円/年、法人30,000円/年

★特典★ ○当協会主催等のセミナーや研修会に優先的にご参加いただけます。

○センターニュースへの広告掲載無料（内容については「和歌山県国際交流協会広告掲載要項」に基づき要相談）

○セミナーや研修会情報誌のDM

公益財団法人和歌山県国際交流協会（共同発行：和歌山県国際交流センター）

☎：073-435-5240 FAX：073-435-5243

URL：（公財）和歌山県国際交流協会 <http://wixas.wak-kokusai.jp>

和歌山県国際交流センター <https://wak-kokusai.jp>

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8F 開館時間：水曜日・祝日・12月29日～

毎日10:00～18:30



JICA海外協力隊が 和歌山県を表敬訪問しました



3月30日(月)に、2025年度3次隊としてエチオピアへ派遣される柏田珠恵さんが、出発の挨拶のため和歌山県庁を訪問しました。

柏田さんの職種は「観光」で、現地の観光振興や地域活性化に関わる活動を予定しています。

当日は、わかやまJICAボランティア応援団の樫畑会長、JICA関西の広沢所長が同席しました。

また、2023年度3次隊としてブラジルへ派遣され、2026年1月に帰国された尾寄凛太郎さん(職種:野球)も同席し、現地での活動や経験について紹介しました。

柏田さんは、派遣への思いや訓練中の様子などを話され、激励を受けながら新たな活動への決意を新たにしていました。

JICA海外協力隊による 出前講座を実施しました

3月4日(水)和歌山大学教育学部附属小学校にてJICA海外協力隊出前講座を実施しました。

今回は、2022年度2次隊としてインドネシアへ派遣され、青少年活動として活動された松野桂子さんを講師に迎えました。

インドネシアでの活動内容や現地での暮らし、子どもたちとの交流についてお話いただきました。また、児童からの質問に答える質疑応答や振り返りの時間を設け、海外での経験や異文化理解について学びを深めました。

当日は、5年生1クラス、6年生2クラス(単学級・複式学級)の計67名の児童が参加し、海外の文化や国際協力について関心を高める貴重な機会となりました。



和歌山から国際協力の現場へ挑戦するJICAボランティアを応援する団体です。派遣前から帰国後までを支え、地域と世界をつなぐ人材の活躍を後押ししています。

わかやまJICAボランティア応援団
ホームページはこちらから

<https://www.wakajicavo.com/>



